

わたしと看護

2025年
1月号

呼吸器腫瘍科 8年目



呼吸器腫瘍科では、患者さんが多岐に渡る治療を受けています。私たち看護師は入院生活だけでなく、退院後も安心して過ごせるように生活環境を整えたり、自宅でのセルフケアを指導したりする役割もあります。

その中で、幅広い思考過程を学び、がん看護ケアの視野を広げたいと思い看護師特定行為の研修を受講しました。研修を受け、単に特定行為を行うことだけでなく、医師と看護師の多角的視点で患者さんの異常の早期発見と早期対応に努めるとともに、後輩の育成に尽力しています。

“病む人の気持ちを”そして“家族の気持ちを”という基本理念のその先にある医療の質の向上を病棟のスタッフと一緒に邁進しています。



独立行政法人国立病院機構

九州がんセンター

National Hospital Organization Kyushu Cancer Center

看護部